

消ちゃんの防災アドバイス

第9号 平成15年11月

伊都消防組合消防本部



ご存知ですか？ 東南海・南海地震の発生が近づいています!!

世界の地震の1割は日本付近で発生しており、日本は世界でも地震の多い国のひとつです。地震が大きな被害をもたらすことも稀ではありません。地震についての知識を深め、いざというときに対処できるようにしておきましょう。

地震はなぜ起こる？

地球の表面を覆っている地殻は、プレートという岩盤の集まりで、年に数センチの速さで動いています。日本列島はユーラシアプレートと北米プレートの上に乗っていて、これらを引きずり込みながらその下に太平洋プレートとフィリピン海プレートがもぐり込んでいます。このプレートどうしの接する境目で、引きずり込まれた側のプレートが耐え切れず、もとに戻ろうとして跳ね上がり、巨大地震を起こします。

マグニチュードと震度の違い

地震のエネルギーの大きさを表すのが、マグニチュード(M)です。地震の大小は、断層運動によって放出されるエネルギーの大小によって決まります。エネルギーが大きくなれば、マグニチュードも大きくなります。マグニチュードが1大きくなると地震のエネルギーは31.6倍になります。震度は、地震によるそれぞれの場所での揺れの程度を表し、10階級に分類しています。

地震の心得10か条

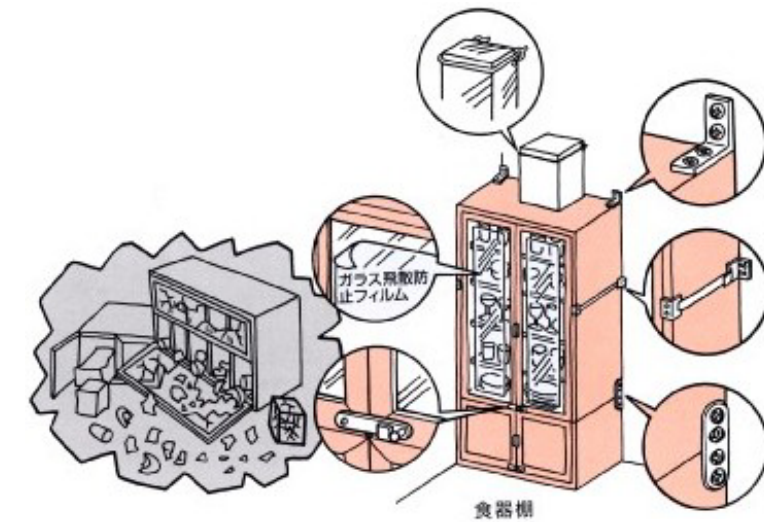
- 1・先ずわが身の安全を図る。(机などの下にもぐる)
- 2・素早く火の始末をする。(どんな小さな火でも消す習慣を)
- 3・脱出口の確保。(戸や窓を開けて、避難口の確保が必要)
- 4・火が出たら素早く消火する。(燃え出して1分が勝負)
- 5・あわてずに避難する。(外へ逃げる時は落下物に注意する)
- 6・山崩れ・崖崩れに注意する。(山間部で地震を感じたら、すぐに安全な場所に避難する)
- 7・戸外では危険なものから身を避けよう。(狭い路地、塀際には近寄らない)
- 8・避難は徒歩で。(持ち物は最小限で歩いて逃げる)
- 9・災害弱者を守る。(子供やお年寄りを優先的に避難させる)
- 10・正しい情報を聞く。(正しい情報をつかみ、適切な行動をとる)



あなたが守る家族の安全

家具の転倒防止を行なっていますか？

兵庫県南部を襲った直下型地震、阪神・淡路大震災(マグニチュード7.2)は死者行方不明者6,000人を超えました。そのなかで、「家屋・家具類などの倒壊による圧迫死と思われるもの」は、死者全体の約8割(4,831人)とされています。また、負傷者は43,000人を数え、そのなかには建物に被害が無いにもかかわらず、家具の転倒や散乱によって、ケガを負った方も多数含まれています。家具の転倒や散乱は知恵と工夫を生かせば、比較的安い費用で防ぐことができます、みなさんの家庭でも行なってみてはどうでしょうか？



和歌山県に被害を及ぼした主な地震

西暦	地域(名称)	マグニチュード	主な被害
1707.10.28	宝永地震	8.4	死者688人、負傷者222人、家屋全壊68戸、同流失1,896戸
1854.12.23	安政東海地震	8.4	二つの地震の被害をはっきりとは区別できない。死者は数千名
1854.12.24	安政南海地震	8.4	と思われる
1899.3.7	紀伊大和地震	7.0	吉野郡、三重県南牟婁郡で被害大、和歌山県東牟婁郡で被害小
1938.1.12	田辺沖	6.8	日高郡、西牟婁郡の沿岸地方で大被害
1944.12.7	東南海地震	7.9	東南海沖を震源地とし紀伊半島に大被害、死者51名
1946.12.21	南海道地震	8.0	南海道沖で発生した大地震、死者・行方不明者269人
1948.6.15	和歌山県中部	6.7	紀伊半島西部に発生。和歌山県、奈良県南部に被害
1995.1.17	兵庫県南部地震	7.2	和歌山市北部で家屋の小被害